

一般社団法人 **公認心理師の会**[®]

2023年 年次総会・研修会

プログラム・抄録集

**2023年8月19日（土）研修会
20日（日）年次総会
東京大学駒場キャンパス**

2023年8月9日現在

**エビデンスにもとづく公認心理師の
新しい時代を切り拓こう**

一般社団法人公認心理師の会 2023年度 年次総会・研修会

公認心理師の会理事長 年次総会実行委員長 丹野義彦

●待ちに待った初めての対面開催

2020年に当会は初めて年次総会を開きました。年次総会の最大の目的は、会員の交流機能（会員が一同に会し、顔を合わせ、学び、親睦を深める場をつくること）にあるので対面形式は必須なのですが、コロナ禍によってオンライン形式とせざるを得ませんでした。その状況が3年以上続きましたが、ようやくコロナ禍が終息に向かい、待ちに待った対面形式の総会が開けるようになりました。会場となる東京大学駒場キャンパスでも対面授業に完全復帰しました。会期中に参加者の交流を促す「情報交換会」を開催し、会員の皆さまが顔を合わせ、親睦を深めていただく機会を設けます。

●初めての実行委員会の試み

これまでの年次総会は、シンポジウムを年次総会委員会が企画し、オンライン形式（録画のオンデマンド配信）で無料配信してきました。今回、対面形式の総会を初めて開くことになり、プログラム数も充実してくると、費用とマンパワーが必要となることがわかりました。そこで有料とさせていただくとともに、初めての試みとして、年次総会委員会とは別に、ローカルの「実行委員会」を組織し、総会の運営を担当することにしました。「初めてづくし」であり、手探りかつ手作りで進めている状態なので、先生方にはご理解いただけますようお願いいたします。

●総会テーマ「エビデンスにもとづく公認心理師の新しい時代を切り拓こう」

年次総会のもう1つの機能は、学会機能（科学者・実践家モデルにもとづく実践研究を推進し、生涯研鑽の場をつくること）です。このために、今年度の総会テーマは「エビデンスにもとづく公認心理師の新しい時代を切り拓こう」としました。当会は、エビデンスにもとづく実践と科学者－実践家モデルという基本理念を普及させるために、研修会制度と専門資格制度「一般社団法人公認心理師の会認定 専門公認心理師®」を作りました。

●心師会 創立5周年の総会

2023年は、公認心理師にとって節目となる年です。2017年に施行された公認心理師法は5年がたち、経過措置も終わりました。当会も2018年11月の設立以来、創立5周年を迎え、今年は記念すべき総会といえます。

●「の会」ではありませんよ、「心師会」ですよ

ひとこと理事会からお願いです。公認心理師の会は、巷では「の会」と略されることもあるようですが、会の正式の略称を「心師会」または「公認心理師会」とすることが2021年1月の理事会で決まりました。周りで「の会」と呼ぶ方がいたら、「心師会」ですよと訂正してあげてください。

1. 年次総会・研修会概要

会期 2023年8月19日(土) 研修会
20日(日) 年次総会
会場 東京大学駒場キャンパス KOMCEE East 2階
住所 〒153-8902
東京都目黒区駒場 3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部
https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_55_j.html
アクセス 京王井の頭線 駒場東大前駅下車

2. 研修会 申し込み要項

定員 各ワークショップ 120名 (先着順)

対象 公認心理師を対象とした研修会です。公認心理師養成大学の大学生は指導教官等の許可が条件となります。

参加費

会員・大学院生・大学生	4,000円
非会員	6,000円

受付期間 8月17日(木)まで (当日の現地受付はおこないません)

申込方法 当会のウェブサイトの「マイページ」からお申し込みください。

<https://cpp-network.com/>

3. 年次総会 参加要項

定員 600名 (先着順)

対象 どなたでもご参加いただけます。

参加費

	早期割引 (6月30日まで)	通常受付 (8月17日まで)
会員／公認心理師養成大学・大学院生	3,000円	5,000円
非会員	4,000円	6,000円

受付期間 8月17日(木)まで (当日の現地受付はおこないません)

申込方法 当会のウェブサイトの「マイページ」からお申し込みください。

<https://cpp-network.com/>

4. お申し込みに関する注意事項

- ・2023年度の会員登録が完了して年会費を支払った方のみ会員参加費となります。会員登録途中の方や、年会費未納の方は、非会員参加費となります。
- ・非会員・初参加の方は、Webサイトの「非会員・初参加の方」をご覧ください。新規ユーザ登録をしていただく必要があります。これを機に入会をお勧めします（年会費 5000 円、入会金なし）。
- ・お支払いいただいた参加費は返金できません。
- ・年次総会・研修会の当日の情報は、参加費支払い完了の方にメールでお知らせします。

5. 日程

第1号通信	2023年4月
参加受付開始	2023年4月
第2号通信	2023年6月（予定） 総会プログラム・抄録集などのご案内
年次総会早期割引期限	2023年6月30日（金）
年次総会・研修会 参加受付期限	2023年8月17日（木）
総会論文集発行	2023年10月（予定） 学会誌「科学者－実践家モデル」に収録

6. 年次総会・研修会に関するお問い合わせ

2023年 年次総会・研修会 専用特設サイト

<https://www.pac-mice.jp/cpp2023/>

<2023年度年次総会に関するお問い合わせ>

公認心理師の会 2023年度年次総会運営事務局

〒650-0034 神戸市中央区京町 83 番地 三宮センチュリービル 3 階

株式会社プロアクティブ内 Eメール <sp-cpp2023@pacmice.jp>

<入会・住所変更・年会費等に関するお問い合わせ>

一般社団法人 公認心理師の会 事務局

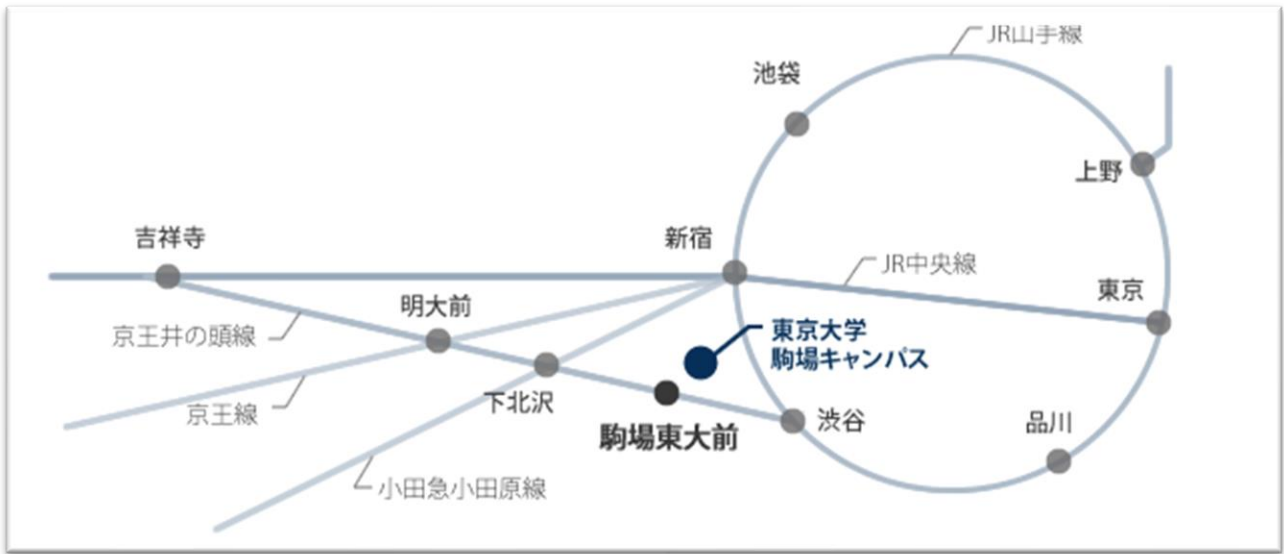
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-23-13 田村ビル

公益社団法人日本心理学会 事務局 JPASS 内

Eメール cppn@cpp-network.com

東京大学駒場キャンパス

交通アクセス



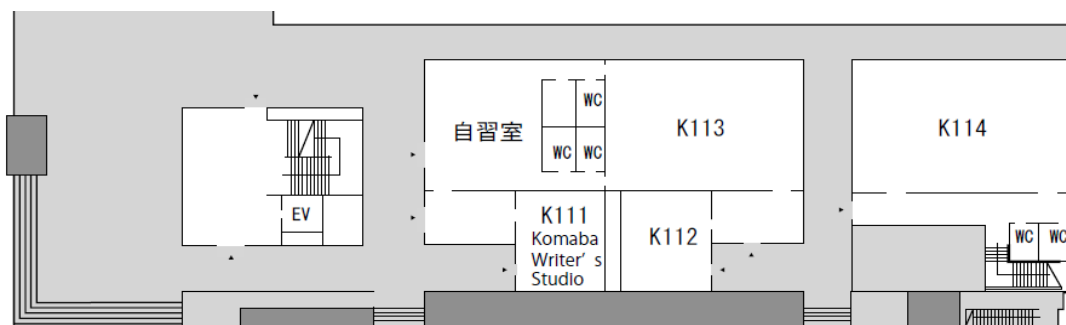
東京大学駒場キャンパス

会場 21 Komaba Center for Educational Excellence (21KOMCEE)



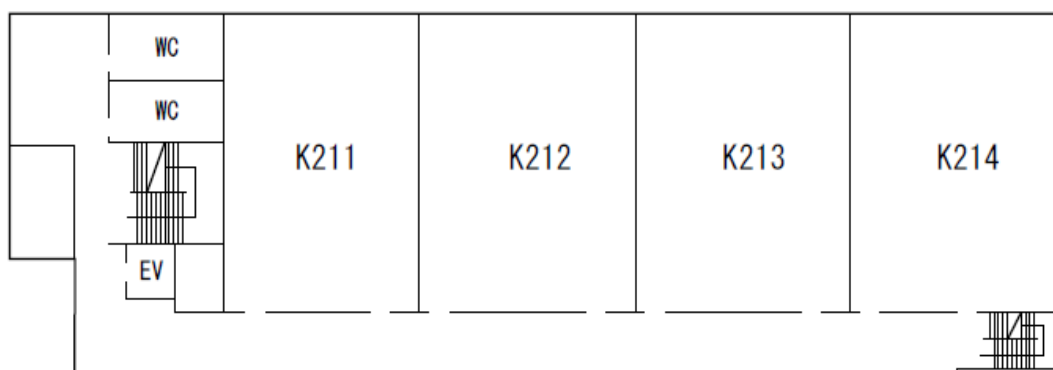
会場 21KOMCEE EAST 平面案内図

1階



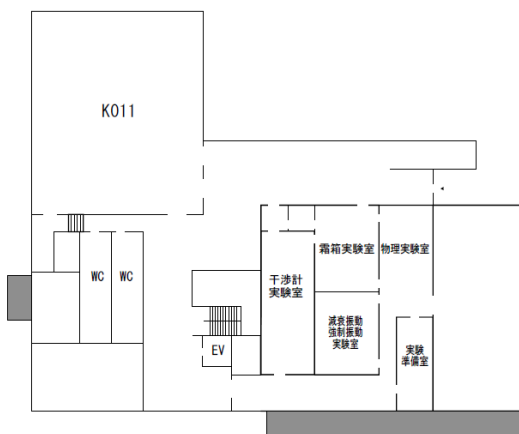
2階

第1会場 第2会場 第3会場 第4会場



地下1階

K011 事務局・打ち合わせ場所



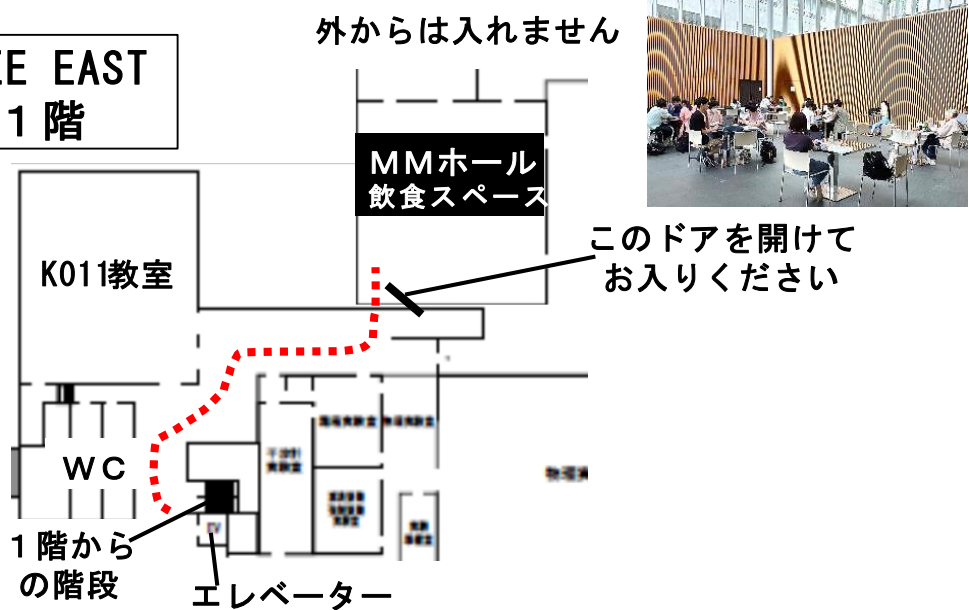
飲食スペースMMホールへの通路

飲食のご注意 飲食スペースのご案内

KOMCEE EAST内での飲食は禁止です。
地下1階のMMホールだけが飲食スペースです。
ご協力ください。

MMホール（飲食スペース）へ行くには地下を通ります

21KOMCEE EAST 地下1階



その他の学内飲食スペースなど



日程表 8月19日(土) 研修会

2023年8月19日(土)

10:00~17:00 研修会
17:30~18:00 情報交換会

	第1会場 KOMCEE East K211	第2会場 KOMCEE East K212	第3会場 KOMCEE East K213	第4会場 KOMCEE East K214
9:30	20分 受付	20分 受付	20分 受付	
9:50	10分 事務連絡	10分 事務連絡	10分 事務連絡	
10:00	<p>【WS1】 医療部会企画 「認知行動療法における心理支援の組み立て方：複雑な情報の統合から効果的な介入戦略へ」 谷口敏淳</p>	<p>【WS2】 教育・特別支援部会企画 「不登校・登校しぶりへのCBT」 高橋史</p>	<p>【WS3】 司法・犯罪・嗜癖部会企画 「非行・犯罪の問題に対する心理学的アプローチ～公認心理師として知っておきたい基礎知識とテクニック～」 寺田孝 有野雄大</p>	
13:00	10分 事務連絡	10分 事務連絡	10分 事務連絡	
13:10				
13:30	20分 受付	20分 受付	20分 受付	
13:50	10分 事務連絡	10分 事務連絡	10分 事務連絡	
14:00	<p>【WS4】 産業・労働・地域保健部会企画 「メンタルヘルスとキャリア」 金井篤子</p>	<p>【WS5】 福祉・障害部会企画 「認知症の人とその家族への心理的アプローチ」 野口代 森本浩志</p>	<p>【WS6】 倫理・職責・関連法規委員会企画 「エビデンスにもとづいた実践をどう進めるか：早期発達支援から高齢者支援までのケースフォーミュレーションとPDCA」 山本淳一</p>	
17:00	10分 事務連絡	10分 事務連絡	10分 事務連絡	
17:10				
17:30	30分 情報交換会	30分 若手の会		
18:00				

日程表 8月20日(日) 年次総会

2023年8月20日(日)

9:30~17:30 年次総会

	第1会場 KOMCEE East K211	第2会場 KOMCEE East K212	第3会場 KOMCEE East K213	第4会場 KOMCEE East K214
9:30 20分	開会式 理事長あいさつ			
9:50				
10:00	<p>【PG3】 公大協共催企画</p> <p>「公認心理師養成のための 実習指導者講習会の開始に 向けて」</p> <p>司 会：丹野義彦 話題提供：吉橋実里 今村扶美 古川洋和 古村健</p>	<p>【PG2】 教育・特別支援部会/ 福祉・障害部会企画</p> <p>「福祉・教育領域における 公認心理師の協働による シームレスな就学支援」</p> <p>司 会：山本淳一 日下部典子 話題提供：熊仁美 石川菜津美 安達潤 大橋智</p>	<p>【PG1】 医療部会企画</p> <p>「脳の働きに障害を持つ人と 出会ったら—高次脳機能障害、 認知症、統合失調症、発達障 害のアセスメントと支援—」</p> <p>司 会：河野直子 澤田梢 指定討論：松井三枝 話題提供：緑川晶 角田千景 大塚貞男 井上雅彦</p>	
12:00				
13:00	<p>【PG4】 司法・犯罪・嗜癖部会企画</p> <p>「司法・犯罪・嗜癖領域の公 認心理師に求められるチカラ ～コンピテンスリストについ て考える」</p> <p>司 会：野村和孝 嶋田洋徳 話題提供：浦田洋 齋藤梓 岩見広一 田部井三貴 西中宏吏 中川桂子</p>	<p>【PG5】 臨床発達心理士認定運営 機構共催企画</p> <p>「発達支援における包括的ア セスメントから支援の方向性 —科学者・実践家としての 根拠のある支援—」</p> <p>司 会：秦野悦子 話題提供：清水里美 萩原拓 本郷一夫 指定発言：星茂行</p>	<p>【PG7】 MCT-Jネットワーク 共催企画</p> <p>「MCTの理論と実践」</p> <p>司 会：古村健 話題提供：石川亮太郎 細野正人 池田直矢</p>	<p>【PG6】 千葉大学共催企画</p> <p>「オンラインメンタル相談支 援システムの社会受容性」</p> <p>司 会：清水栄司 加藤友章 話題提供：冨家直明 太田英伸 佐藤大介 大倉政宏 竹林由武</p>
15:00				
15:30	<p>【PG9】 倫理・職責・関連法規 委員会企画</p> <p>「公認心理師の共通コンピ テンス」</p> <p>司 会：丹野義彦 伊藤義徳 話題提供：金井嘉宏 佐々木淳 有光興記</p>	<p>【PG8】 産業・労働・地域保健部会 企画</p> <p>「デジタルメンタルヘルス」</p> <p>司会・話題提供：真船浩介 話題提供：山本哲也 岡島義 指定討論：水島秀聡</p>	<p>【PG10】 CT学会共催企画</p> <p>「多様な現場における公認心理師 による認知行動療法の実践と課題 ～総合病院・がん医療・産業保健 分野の実践～」</p> <p>司 会：古村健 話題提供：柴黒慎太郎 柳井優子 田上明日香 指定発言：藤澤大介</p>	<p>【PG11】 研究推進・学術情報提供 委員会企画</p> <p>「若手の会ネットワーク イベント」</p> <p>司 会：国里愛彦 話題提供：畑琴音 渡辺和広</p>
17:00				
17:10 20分	閉会式			
17:30				

研修会 参加者へのご案内

【19日(土) 研修会】

参加受付

1) 日時： 8月19日(土) 9:30～9:50 / 13:30～13:50

場所： 東京大学駒場キャンパス KOMCEE East 2階 各教室内

(詳しくは、駒場キャンパスマップをご覧ください)

2) 参加の手続き〈事前申し込み受付のみ〉

『受付』にて、お名前をお伺いします。

配布資料を受付で配布いたします。

ワークショップ終了後に受講証明書をお渡しします。

■ 「発熱、倦怠感、息苦しさ等」の症状がある方の入構をお断りすることがございますので、ご了承ください(今後の状況により、変更が生じる場合があります)。

■ 録画および写真撮影について

ワークショップは録画を予定しております。また、広報用に写真撮影をおこなう場合があります。録画および撮影時には、参加者の顔が写りこまないように配慮いたします。

昼食のご案内

KOMCEE East 内での飲食は禁止されております。

KOMCEE West B1階 MMホール(K003)を昼食場所として開放いたします。

利用可能日時：8月19日(土) 12:00～15:00

その他の学内飲食スペースは、ホームページの会場案内にて掲載している別紙資料「飲食スペースのご案内」をご覧ください。

お弁当等の販売は行いません。

その他

1) ご不明な点がございましたら、係員にご遠慮なくお尋ねください。

2) キャンパス内の駐車場はご利用いただけません。

3) 喫煙は喫煙スペースにてお願いいたします。

4) 会場内にフリーwi-fi等、インターネット環境はございません。

5) 事後の研修会アンケートにご協力ください。

年次総会 参加者へのご案内

【20日(日) 年次総会】

参加受付

1) 日時：8月20日(日) 9:00～15:30
場所：東京大学駒場キャンパス KOMCEE East 2階 ホワイエ
(詳しくは、駒場キャンパスマップをご覧ください)

2) 参加の手続き〈事前申し込み受付のみ〉
『受付』にて、お名前をお伺いします。
「ネームカード・参加証明書・ネームホルダー」をお受け取りください。
プログラム・抄録集は、ホームページにて電子媒体でご覧いただけます。
ホームページ URL：<https://www.pac-mice.jp/cpp2023/>
印刷が必要な方は、ご自身で印刷をお願いします。

- 「発熱、倦怠感、息苦しさ等」の症状がある方の入構をお断りすることがございますので、ご了承ください(今後の状況により、変更が生じる場合があります)。
- ネームカードを必ずご着用ください。
- プログラム中に広報用の写真撮影をおこなう場合があります。撮影時には、参加者の顔が写りこまないように配慮いたします。

昼食のご案内

KOMCEE East 内での飲食は禁止されております。
KOMCEE West B1階 MMホール(K003)を昼食場所として開放いたします。
利用可能日時：8月20日(日) 10:00～17:00
その他の学内飲食スペースは、ホームページの会場案内にて掲載している別紙資料「飲食スペースのご案内」をご覧ください。
お弁当等の販売は行いません。

その他

- 1) ご不明な点がございましたら、係員にご遠慮なくお尋ねください。
- 2) キャンパス内の駐車場はご利用いただけません。
- 3) 喫煙は喫煙スペースにてお願いいたします。
- 4) 会場内にフリーwi-fi等、インターネット環境はございません。
- 5) 事後の年次総会アンケートにご協力ください。

研修会の講師および司会者へのご案内

1. 開始15分前までに控室（KOMCEE East 2階 K214）にお越しください。
2. 会場ではプロジェクター・スクリーンの使用が可能ですが、パソコンはご自身でご持参ください。
機器の操作はご自身でお願いいたします。
プロジェクター入力端子は、HDMI 端子・RGB 端子です。お持ちのパソコンの出力端子をご確認いただき、パソコンに応じた変換アダプターを必ずご持参ください。
3. ワークショップは録画を予定しております。
音声の収録のため、教室のマイクをご使用いただけますようお願いいたします。
4. 会場にフリーwi-fi はございません。
5. 終了後は換気および密を防ぐため、速やかに会場より退室のご協力をお願いいたします。

控室・打ち合わせ場所

以下を、控室・打ち合わせ場所として開放いたします。

日時：8月19日(土) KOMCEE East 2階 K214 9:00 ~ 18:00

講師および司会者の先生には、お弁当をご用意しておりますので、控室にてお受け取りをお願いいたします。

（お弁当受け取り可能時間：両日 11時以降）

控室での飲食は禁止されております。ご了承ください。

昼食のご案内

KOMCEE West B1階 MMホール（K003）を昼食場所として開放いたします。

利用可能日時：8月19日(土) 12:00 ~ 15:00

「飲食のご注意 飲食スペースのご案内」のページを参照ください。

年次総会シンポジウムの企画者・登壇者へのご案内

1. シンポジウム内の発表の時間配分は司会者にお任せしますが、制限時間を厳守していただくようお願いいたします。
2. 関係者は、セッション開始15分前までに各会場にご参集ください。
3. 会場ではプロジェクター・スクリーンの使用が可能ですが、パソコンは各自ご持参ください。
機器の操作はご自身でお願いいたします。
プロジェクター入力端子は、HDMI 端子・RGB 端子です。お持ちのパソコンの出力端子をご確認いただき、パソコンに応じた変換アダプターを必ずご持参ください。
4. 会場にフリーwi-fi はございません。
5. コピー機は利用できません。補足資料を配布される場合には、各自でご用意ください。
6. 司会者は、フロアの参加者に対し、氏名・所属を明らかにしてから質問をするように促してください。
7. 終了後は換気および密を防ぐため、速やかに会場より退室のご協力をお願いいたします。
8. 総会発表論文集『一般社団法人公認心理師の会 学術雑誌 科学者-実践家モデル』を発行いたします。原稿は9月中旬までを目途に作成をお願いいたします。
提出期限・方法につきまして、詳しくは開催後に改めてご連絡をさせていただきます。

シンポジウム等各種打ち合わせ場所

以下を、打ち合わせ場所として開放いたします。

日時：8月20日(日) KOMCEE East B1階 K011 9:00～18:00

(12:00～13:00はK011にて理事懇談会を行っておりますが、ご利用いただくことは可能です)

登壇者の先生には、お弁当をご用意しておりますので、打ち合わせ場所にてお受け取りをお願いいたします。

打ち合わせ場所での飲食は禁止されております。ご了承ください。

(お弁当受け取り可能時間：11時以降)

昼食のご案内

KOMCEE West B1 階 MM ホール (K003) を昼食場所として開放いたします。

利用可能日時：8月20日(日) 10:00～17:00

「飲食のご注意 飲食スペースのご案内」のページを参照ください。

研修会 プログラム

1 日目 2023 年 8 月 19 日 (土)

9:30 受付開始
 10:00～13:00 WS1・WS2・WS3
 14:00～17:00 WS4・WS5・WS6
 17:30～18:00 情報交換会・若手の会

◆研修会 8月19日 プログラム

時間	番号	部会	タイトル	講師	所属
午前 10:00-13:00	WS1	医療	認知行動療法における心理支援の組み立て方： 複雑な情報の統合から効果的な介入戦略へ	谷口 敏淳	一般社団法人サイコロ
	WS2	教育・特別支援	はじめて学ぶ不登校支援の認知行動療法	高橋 史	信州大学
	WS3	司法・犯罪・嗜癖	非行・犯罪の問題に対する心理学的アプローチ ～公認心理師として知っておきたい基礎知識とテクニック～	寺田 孝	川越少年刑務所
有野 雄大				東京保護観察所立川支部	
午後 14:00-17:00	WS4	産業・労働・地域保健	産業・労働分野におけるメンタルヘルスとキャリア ～ゼロ次予防の視点から～	金井 篤子	名古屋大学
	WS5	福祉・障害	認知症の人とその家族への心理的アプローチ	野口 代	東大阪大学短期大学部
				森本 浩志	明治学院大学
WS6	倫理・職責・関連法規	エビデンスにもとづいた実践をどう進めるか： 早期発達支援から高齢者支援までのケースフォーミュレーションと PDCA	山本 淳一	東京都立大学／慶應義塾大学	

認知行動療法における心理支援の組み立て方：

複雑な情報の統合から効果的な介入戦略へ

【講師および司会】 谷口 敏淳 （一般社団法人サイコロ）

【ワークショップ概要】

認知行動療法（CBT）はうつ病をはじめ複数の精神疾患に対して有効性が認められています。しかし、医師からうつ病のCBTを依頼されるなど、焦点が定まった形でCBTの介入が始まることの方が少ないのではないのでしょうか。実際の心理支援においては、医療現場で支援の対象になる患者さんの多くに併存疾患があります。また、生活環境の問題など精神疾患以外の要因も考慮する必要があります。医療現場に限らず、「学校を休みがち」「人間関係が辛い」「仕事がうまく覚えられない」など、生活上の支障が主訴で心理支援につながるものがほとんどではないのでしょうか。こうした状況においてCBTを実践していくためには、CBTを効果的に導入するための土台づくりが必要です。本ワークショップでは、関係性の構築や情報の聴取と整理、また心理教育のポイントなどCBTを効果的に実践していくための組み立て方について考えたいと思います。

●想定する対象者

初学者向け（認知行動療法を実践で取り入れたい方、取り入れている方、医療現場の臨床に関与する方など）

講師紹介

谷口 敏淳



所属・役職

一般社団法人サイコロ・代表理事

略歴

医学博士。一般社団法人 Psychoro 代表理事。

1981年生。大阪府出身。大学院修了後から勤務した総合病院精神科では、精神障がい者の就労支援や勤務病院の職員の心理的支援など、働く人のメンタルヘルスケアに主に取り組んできた。また、“予防”に関する心理学研究に取り組んでおり、2014年には博士号（医学）を取得した。精神科の現場で行なうカウンセリングの経験と、研究者としての視点から“社会に生きる研究や実践”をテーマに、臨床実践、研究、講演活動などしている。2016年4月からは福山大学人間文化学部心理学科に准教授として着任し、2019年3月に退職。同年4月より一般社団法人 Psychoro（サイコロ）の活動に専念し、鳥取東部地域を中心に心理的支援から研究、普及啓発活動を行なっている。

著書

「精神障害のある人とともに働くための Q&A50」編者 眞保 智子, 日本加除出版, 2020, 一部執筆
「代替行動の臨床実践ガイド: 「ついやってしまう」「やめられない」の〈やり方〉を変えるカウンセリング」編者 横光 健吾・入江 智也・田中恒彦, 北大路書房, 2022, 「リストカット」執筆
「職業リハビリテーションにおける認知行動療法の実践」編者 池田浩之・谷口敏淳, 遠見書房, 2023 など

公的活動・学会活動・社会的活動など

鳥取労働局 発達障害者専門指導監 (2016年4月～)
公認心理師養成教員連絡協議会 現場実習検討委員 (2018年3月～)
一般社団法人「公認心理師の会」理事 (2018年12月～)
日本行動医学会 評議員 (2020年7月～)
日本認知・行動療法学会 編集委員 (2016年7月～)

資格

公認心理師, 臨床心理士, 精神保健福祉士, 専門行動療法士, 認知行動療法士, 認知行動療法スーパーバイザー

受賞歴など

第20回日本行動医学会若手奨励賞

おもなワークショップ担当歴

第1回 一般社団法人公認心理師の会 研修会 WS2 「医療における現場実習のはじめ方とすすめ方」
第1回 一般社団法人公認心理師の会 研修会 WS4 「産業分野の心理的支援における多職種・多機関連携」

公認心理師の方へ一言

認知行動療法を少しでも実践に使えるように、一緒に考えていきましょう。

はじめて学ぶ不登校支援の認知行動療法

【講師】 高橋 史 (信州大学)

【司会】 戸ヶ崎泰子 (宮崎大学)

【ワークショップ概要】

このワークショップでは、①認知行動療法の発想と不登校支援の大枠、②不登校支援ではじめにすること、③状況に変化を生む介入の基礎、の3点を学びます。不登校の背景はさまざまで、不登校にまつわる価値観（例：不登校の何を問題だと考えるか）もさまざまな中で、いくつかの手法・技法を知るだけで対応できるほど単純ではありません。その上で、「本人がやる気にならないと何をしても意味がない」と子ども本人に責任を押し付けてしまわなければいけないほど複雑でもありません。本ワークショップでは、手法・技法を支える発想や視点を学ぶことで、子どもや家庭、学校の事情に合わせた支援を組み立てる臨床判断の基礎を身に付けます。

●想定する対象者

実際に学校で働いているけれども学校での心理支援の経験は多くないという方（例：経験1～2年目のスクールカウンセラー、学校で働いていたが心理職は初めて、心理職として他領域での経験はあるが学校で働くのは初めて）に最も適しています。

講師紹介

高橋 史



所属・役職

信州大学・准教授

略歴

2007年4月～2009年3月 足立医療生活協同組合 綾瀬駅前診療所心療内科 心理士

2009年4月～2011年3月 葛飾区子ども発達センター 心理発達専門員

2011 年 4 月～現在 信州大学教育学部 専任教員

著書

ACT をまなぶ（熊野宏昭・高橋 史・武藤 崇[監訳]）星和書店
ACT をみる：エキスパートによる面接の実際（熊野宏昭・高橋 史・武藤 崇[監訳]）星和書店
カウンセリングにおけるアセスメントの原理と適用（石川信一・佐藤 寛・高橋 史[監訳]）金子書房
公的活動・学会活動・社会的活動など長野県臨床心理士会 理事（担当：学校臨床心理士部会）
長野県公認心理師・臨床心理士協会第 3 回大会 大会長
日本心理学会 機関紙等編集委員
行動療法コロキウム' 12 in 信州美ヶ原事務局長
日本認知・行動療法学会 各種委員
一般社団法人青少年のための心理療法研究所 代表理事

資格

公認心理師
認知行動療法スーパーバイザー
認知行動療法
専門行動療法士
臨床心理士
博士（人間科学）

受賞歴など

日本ストレスマネジメント学会第 3 回大会 優秀発表賞（筆頭著者：金子久美）
Asian Conference of Health Psychology Poster Award（筆頭著者：Ueda, K.）
日本行動療法学会（現在：日本認知・行動療法学会） 内山記念賞（年間最優秀論文賞）

おもなワークショップ担当歴

2020 年 8 月 「行動の問題」の見方と対応の実際～認知行動療法によるアプローチ～ 発達協会
2021 年 10 月 How can ACT be integrated into adolescent group therapy? - Theory, empirical background, and techniques. University College London Educational Psychology October Leading Edge Event “Acceptance and Commitment Therapy” .
2021 年 10 月 子どもの問題行動に対する認知行動療法 日本認知・行動療法学会第 47 回大会
2021 年 11 月 認知行動療法の面接スキルトレーニング 日本産業カウンセラー協会上信越支部
2022 年 2 月 第三世代の認知行動療法 日本認知行動カウンセリング協会

公認心理師の方へ一言

楽しくやってみましょう。

非行・犯罪の問題に対する心理学的アプローチ

～公認心理師として知っておきたい基礎知識とテクニック～

【講師】 寺田 孝 (川越少年刑務所)
有野 雄大 (東京保護観察所立川支部)

【司会】 有野 雄大 (東京保護観察所立川支部)

【ワークショップ概要】

本研修は、犯罪・非行の問題に関心のある方はもとより、犯罪・非行臨床の初学者の方や、医療・教育・福祉・産業等の領域で活動し、触法行為のある人への対応で悩みを抱えている方を対象とし、矯正施設と保護観察所に勤務する講師2名が、犯罪・非行の問題に関する基礎知識やテクニックについて講義を行う。第1部では、公認心理師として知っておくべき知識として、犯罪をした人や非行のある少年に対する手続について概説する。第2部では、再犯・再非行リスクを評定するアセスメントツールや、再犯・再非行防止を目的とした刑事施設（刑務所、少年刑務所、拘置所）における改善指導、少年院における特定生活指導、保護観察所における専門的処遇プログラムを取り上げる。第3部では、犯罪をした人や非行のある少年に対する介入技法として用いられている認知行動療法や動機づけ面接などを紹介し、触法問題のある人への対応に活用するためのヒントを提示する。

●想定する対象者

主に非行・犯罪臨床の初学者や司法・犯罪・嗜癮領域以外の領域で活動されている方の参加を歓迎します。

講師紹介

寺田 孝



所属・役職

川越少年刑務所 教育専門官

略歴

創価大学文学部卒業。1993 年少年院に法務教官として拝命。その後、教育専門官として刑務所勤務を経て現職。

著書

- ・2022 年 原田隆之編著「公認心理師ベーシック講座 司法・犯罪心理学」講談社（分担執筆）
- ・2019 年 日本認知行動療法学会編集「認知行動療法事典」丸善出版（分担執筆）
- ・2017 年 門本泉・嶋田洋徳編著「性犯罪者への治療的・教育的アプローチ」（分担執筆）

公的活動・学会活動・社会的活動など

一般社団法人 公認心理士の会 司法・犯罪・嗜癖部会 専門委員

資格

公認心理師

おもなワークショップ担当歴

- ・2021 年 日本犯罪心理学会第 59 回大会自主企画シンポジウム「実務家によるエビデンスの創出：その効用と可能性について」（話題提供）
- ・2020 年 一般社団法人 公認心理士の会 2020 年度年次総会 司法・犯罪・嗜癖部会シンポジウム「矯正・保護・地域における心理的支援の連携のあり方：性犯罪者に対する公的支援と民間支援」（話題提供）
- ・2019 年 多摩トラブルシューターズ・ネットワーク 秋季セミナー「性犯罪者プログラム ―” 塀” 中の模索」（講師）
- ・2014 年 日本心理学会・日本学術会議共催 公開シンポジウム「我が国における性犯罪者の処遇プログラムとその効果」（話題提供）
- ・2014 年 日本犯罪心理学会第 52 回大会ミニシンポジウム「司法矯正領域における集団認知行動療法ーグループという力の活用の観点からー」（話題提供）

公認心理師の方へ一言

刑事施設や少年院における心理的支援は、一般の方には余り馴染みはないと思うので、どのように行われているのか、わかりやすく解説したいと思います。また、その解説が、触法行為をした人に接する際の参考になればと思います。

講師紹介

有野 雄大



所属・役職

東京保護観察所立川支部・主任保護観察官

略歴

筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコース修了。修士（カウンセリング）。2008年法務省入省。釧路、旭川、長野、さいたま、東京の各保護観察所のほか、法務省保護局、法務総合研究所、内閣府、川越少年刑務所で勤務。

著書

- ・原田隆之編著『公認心理師ベーシック講座司法・犯罪心理学』講談社（分担執筆）
- ・日本更生保護学会編『更生保護学事典』弘文堂（分担執筆）
- ・青木治・中村英司編『矯正職員のための動機づけ面接』公益財団法人矯正協会（分担執筆）

公的活動・学会活動・社会的活動など

- ・一般社団法人公認心理師の会司法・犯罪・嗜癖部会専門委員
- ・一般社団法人公認心理師の会研修会・年次総会委員
- ・寛容と連携の日本動機づけ面接学会理事
- ・ASK 認定依存症予防教育アドバイザー
- ・Motivational Interviewing Network of Trainers (MINT) メンバー

資格

公認心理師、精神保健福祉士、社会福祉士

おもなワークショップ担当歴

2022年 日本認知・行動療法学会第48回大会 自主企画シンポジウム「司法・犯罪分野における動機づけ面接と認知行動療法の統合化」（話題提供）

2021年 日本認知・行動療法学会第47回大会 公認心理師の会司法・犯罪・嗜癖部会共催シンポジウム「司法・犯罪分野の触法者を対象とした認知行動療法の体系化」（話題提供）

2021年 日本犯罪心理学会第59回大会自主企画シンポジウム「少年の立ち直りを支えるー共通言語としての動機づけ面接を活用して」（企画・話題提供）

2020 年 一般社団法人公認心理師の会 2020 年度年次総会司法・犯罪・嗜癖部会シンポジウム「矯正・保護・地域における心理的支援の連携のあり方：性犯罪者に対する公的支援と民間支援」（企画・話題提供）

2019 年 日本更生保護学会第 2 回更生保護学研修会－先人の知見と先端の手法を学ぶ－「更生保護における動機づけ面接－その基幹と手技を学ぶ－」（講師）

2019 年 日本犯罪心理学会第 57 回大会自主企画シンポジウム「薬物依存症者の回復支援に心理学はいかに貢献するか」（企画・話題提供）

公認心理師の方へ一言

触法行為をした人に対する司法手続や指導・支援については、あまりなじみがない方も少なくないと思います。本研修を通じて、基本的な知識を学んでいただき、触法行為のある人への対応の一助としていただければ幸いです。

産業・労働分野におけるメンタルヘルスとキャリア

～ゼロ次予防の視点から～

【講師】 金井 篤子 (名古屋大学)

【司会】 田上 明日香 (SOMPO ヘルスサポート)

【ワークショップ概要】

産業・労働分野の心理支援は、生活者としてのクライアントを支援、クライアントを支えるためにクライアントを取り巻く組織を支えることを目標としている。産業・労働分野の特徴としては、①社会、組織の中の個人ということと、②現実の制約、現実原則の、大きく2つを挙げることができる。これらは他の分野でも同じということもあるが、産業・労働分野では特に強調される。この2つの特徴を踏まえると、産業・労働分野における公認心理師の支援、役割は、①個人の問題の背景にある組織や社会の問題を鋭く見出すこと、と②現実原則を踏まえた現実的な支援とその制約を超えた支援の可能性を探る支援を行うことの2つとなる。これらの支援を実現するためには、個人の心理的メカニズムを理解していることは当然だが、組織のメカニズム、ひいては、刻々と変化する社会のメカニズムを理解していることが求められる。また、これらが確かに連動しており、そしてどのように連動しているのかを説明できることが重要である。本ワークショップでは、この個人と組織の問題が連動することを踏まえ、ゼロ次予防の視点から、産業・労働分野におけるメンタルヘルスとキャリアについて考えたい。

講師紹介

金井 篤子

所属・役職

名古屋大学 教授

略歴

名古屋大学教育学部教育心理学科卒業後、民間会社にて人事教育関係の職務を担当。その後、名古屋大学大学院教育学研究科修士課程発達臨床学専攻入学、同博士後期課程進学。同課程を中退後、名古屋大学教育学部助手、助教授を経て、現在に至る。

著書

金井篤子 2000 キャリア・ストレスに関する研究-組織内キャリア開発の視点からのメンタルヘルスへの接近- 風間書房.

金井篤子編 2016 産業心理臨床実践-個人(人)と職場・組織を支援する 森田美弥子・松本真理子・金井篤子監修 心の専門家養成講座8 ナカニシヤ出版.

金井篤子編 2017 産業・組織心理学 太田信夫監修 シリーズ心理学と仕事11 北大路書房.

金井篤子 2018 産業・組織心理学 公認心理師の業務：産業・労働 産業・労働分野①：法律 産業・労働分野②：施策 子安増生・丹野義彦（編） 公認心理師エッセンシャルズ 有斐閣 Pp. 40-41 Pp. 78-79 Pp. 156-162 Pp. 164-169.

金井篤子編 2019 産業・組織心理学を学ぶー心理職のためのエッセンシャルズー 産業・組織心理学会企画 産業・組織心理学会設立 35 周年記念講座第 1 巻 北大路書房.

金井篤子編 2021 心理臨床実践のための心理学 森田美弥子・松本真理子・金井篤子監修 心の専門家養成講座 5 ナカニシヤ出版.

金井篤子 2023 産業・組織領域における支援の理論と実践 岩壁茂・遠藤俊彦・黒木俊秀・中島義文・中村知靖・橋本和明・増沢高・村瀬嘉代子編 臨床心理学スタンダードテキスト 金剛出版, Pp. 831-839.

公的活動・学会活動・社会的活動など

公益社団法人日本心理学会常務理事

産業・組織心理学会常任理事

資格

公認心理師, 臨床心理士, 1 級キャリア・コンサルティング技能士

公認心理師の方へ一言

長年の悲願だった心理学の国家資格が誕生しました。まだ誕生したばかりで、この資格の実質化はまさに公認心理師お一人お一人の肩にかかっているとと言えます。このワークショップでは、産業・労働分野におけるメンタルヘルスとキャリアを扱っていますが、組織に関する知識はすべての分野に必要な知見であると思っております。人は社会、組織の中で生きる存在だからです。こういった知見が皆様の日々の活動、ひいては公認心理師資格の実質化に役立つことを願っております。

認知症の人とその家族への心理的アプローチ

【講師】 野口 代 (東大阪大学短期大学部)
森本 浩志 (明治学院大学)

【司会】 金澤潤一郎 (北海道医療大学)

【ワークショップ概要】

わが国の認知症の人は、2025年に約700万人(高齢者の約5人に1人)に達すると推計されています(厚生労働省, 2015)。働き盛りの40代や50代で認知症(若年性認知症)になり、仕事を調整しながら就労を続ける人もいます。高齢の受刑者が認知症になり、処遇で配慮が必要になることもあります。認知症という病気の特徴から、症状が進行すると日常生活を送るうえでサポート(介護)が必要になります。子育てをしながら認知症を患った親の介護をしている人も少なくありません。このように現在では認知症はとても身近な病気になっており、活動領域を問わず心理士が認知症の人やその家族に関わる可能性があります。また、認知症の人やその家族からの心理支援のニーズも高まっています。

本ワークショップでは、認知症の人とその家族それぞれへの心理支援について事例を通してご紹介するとともに、心理支援のエビデンスについてもご紹介します。

講師紹介

野口 代



所属・役職

東大阪大学短期大学部 介護福祉学科 准教授

略歴

大学を卒業後、グループホーム等の介護施設にて介護職員として勤務。認知症の人の介護やケアマネジメントを行う。その後、筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程・後期課程を修了し、筑波大学人間系助教などを経て現職。現在まで継続して、認知症の行動・心理症状(BPSD)に対する非薬物的・心理社会的アプローチの研究を行う。博士(障害科学)。介護支援専門員、介護福祉士、日本心理学会認定心理士。専門は認知症ケア。

著書

- ・『よくわかる！行動分析による認知症ケア』野口 代・山中克夫. 中央法規出版. 2019.
- ・『チャレンジング行動から認知症の人の世界を理解する』山中克夫（監訳）. 星和書店. 2016. (翻訳書)

公的活動・学会活動・社会的活動など

2020年1月 - 現在 日本老年行動科学会 理事

2017年4月 - 現在 日本老年行動科学会 編集委員会委員

資格

介護支援専門員、介護福祉士、日本心理学会認定心理士

受賞歴など

2020年3月 障害科学学会 2019年度 実践賞

2017年3月 研究科長賞 筑波大学人間総合科学研究科

2016年3月 障害科学学会 平成27年度 研究奨励賞

おもなワークショップ担当歴

- ・大阪府臨床心理士会 オンライン第30回総会・研修会 講師 2022年6月12日
- ・熊本県基幹型認知症疾患医療センター主催 認知症初期集中支援チーム員向け フォローアップ研修 講師 2022年2月18日
- ・山口県認知症疾患医療センター合同研修会 講師 2022年2月6日

公認心理師の方へ一言

当日は、エビデンスに基づいて、認知症の人への心理的支援について事例もまじえながらご紹介していきたいと思っております。

講師紹介

森本 浩志



所属・役職

明治学院大学 教授

略歴

早稲田大学大学院人間科学研究科 博士後期課程 修了 博士（人間科学）

高齢者医療を中心とした病院の心理士，心療内科附属カウンセリングルームのカウンセラー，広島国際大学心理学部心理学科助教，明治学院大学心理学部心理学科准教授を経て，2023年4月より現職。

著書

・Morimoto et al. (2023). Reliability and validity of the Japanese version of the experiential avoidance in caregiving questionnaire (EACQ). *Journal of Contextual Behavioral Science*, 27, 160-169.

・Morimoto et al. (2023). Reliability and validity of the Japanese version of the Valued Living Questionnaire Adapted to Caregiving. *Clinical Gerontologist*. Advance online publication.

・Morimoto (2022). Acceptance and commitment improve the work-caregiving interface among dementia family caregivers. *Psychology and Aging*, 37(6), 749-765.

・森本他 (2022). 認知症の人の家族介護者を対象とした集団認知・行動療法プログラム—有効性と実行可能性の予備的検討— *老年臨床心理学研究*, 3(1), 8-20.

・Morimoto et al. (2021). Antecedents and outcomes of enrichment among working family caregivers of people with dementia: A longitudinal analysis. *The Journals of Gerontology, Series B: Psychological Sciences and Social Sciences*, 76(6), 1060-1070.

・森本 (2020). 認知症，介護—親が認知症になったらどうなる？どうする？ 岡島義・金井嘉宏(編) *使う使える臨床心理学* (pp. 237-253) 弘文堂

ほか

公的活動・学会活動・社会的活動など

日本認知・行動療法学会第44回大会 準備委員会事務局長 (2018年)，日本ストレスマネジメント学会 監事 (2020年～2023年)，ほか。

地域在住の認知症の人とその家族を対象とした心理支援プログラムである「認知症の人とそこ家族のためのセルフケアプログラム」を実施している（2018年～）。

資格

公認心理師，臨床心理士，認定行動療法士，専門社会調査士

受賞歴など

日本認知療法・認知行動療法学会 第8回最優秀論文賞（共同研究）（2021年）

おもなワークショップ担当歴

- ・広島県国保診療施設看護師研修会「認知症のケアに活かす認知行動療法」（2016年）
- ・日本認知・行動療法学会第46回大会ワークショップ「認知症の人の家族介護者への認知行動療法」（2020年）
- ・日本臨床心理士会主催第21回高齢者支援研修会「認知症の人の家族介護者への認知行動療法」（2022年）

公認心理師の方へ一言

認知症の人やその家族への心理支援は多くのニーズがある一方で，実際の支援はまだまだ限られています。多くの方に興味を持っていただき，支援の輪を広げていければと考えております。

エビデンスにもとづいた実践をどう進めるか：

早期発達支援から高齢者支援までのケースフォーミュレーションと PDCA

【講師】 山本 淳一 (東京都立大学／慶應義塾大学)

【司会】 伊藤 義徳 (人間環境大学)

【ワークショップ概要】

1. 幼児への発達支援と行動問題解決，ペアレント・コンサルテーション：最先端の「エビデンスにもとづいた実践 (evidence-based practice)」方法を解説します。次に，事例を提示します。ワークシートに書き入れながら，ケースフォーミュレーションを行い，発達支援と問題解決を進めます。発達支援を進めながら効果量評価を行うアプリである「AI-PAC LAB®」の活用方法を紹介します。
2. 学校での教育支援と行動問題解決，行動コンサルテーション：学校の中でのポジティブ行動支援と問題解決技法を先生方に活用してもらうための行動コンサルテーションについて，事例を提示し，ワークショップを行います。
3. 実践を事例研究論文に仕上げるための論文作成ワークショップ：論文作成テンプレートを活用しながら，日々の実践を，どのようにまとめ，事例報告や論文に仕上げていくか，単一事例研究計画法による事例研究の進め方の練習を行います。
4. 多職種連携の方法（高齢者への健康促進と予防支援）：リハビリテーションの専門家（PT, OT, ST）の支援技法と公認心理師の支援技法をどのように融合させ，QOL の高い生活を実現するかを検討していきます。

●想定する対象者

心理学の専門家であれば，また心理学を活用した実践を習得したい方であれば，どなたでもご参加ください

講師紹介

山本 淳一



所属・役職

東京都立大学 システムデザイン学部 特任教授

略歴

2022年 - 現在 東京都立大学 システムデザイン学部 特任教授
慶應義塾大学 名誉教授

2003年 - 2022年 慶應義塾大学 文学部 教授

2007年 - 2008年 University of California, San Diego (UCSD) Visiting Scholar

2001年 - 2003年 慶應義塾大学 文学部 助教授

1999年 - 2001年 筑波大学 心身障害学系 助教授

1995年 - 1999年 明星大学 人文学部・助教授

著書

- ・一般社団法人公認心理師の会 教育・特別支援部会（監修）小関俊祐・大石幸二・嶋田洋徳・山本淳一（責任編集）（2023）. 事例で学ぶ 公認心理師必携・教育分野におけるエビデンス実践の知識と技能（仮題）. 金剛出版
- ・山本淳一・作田亮一（監修・著）岡島純子・中村美奈子・加藤典子（著）（2020）. 親子で成長！気になる子どものSST実践ガイド. 金剛出版
- ・山本淳一（監修・著）松崎敦子（著）（2020）. コミュニケーションを育てる応用行動分析学：0-5歳児 発達が気になる子のコミュニケーション力育て. 学研
- ・山本淳一（2019）. ことばの獲得. 臨床言語学の可能性（pp. 23-24）. 晃洋書房
- ・山崎裕司・山本淳一（編著）（2019）. リハビリテーション効果を最大限に引き出すコツ：応用行動分析で運動療法とADL訓練は変わる 第3版. 三輪書店
- ・山本淳一・武藤崇・鎌倉やよい（編著）（2015）. ケースで学ぶ 行動分析学による問題解決. 金剛出版

その他は、以下を参照してください。

山本 淳一 (Junichi Yamamoto) - マイポータル -

公的活動・学会活動・社会的活動など

日本行動分析学会、The Association for Behavior Analysis International、日本認知・行動療法学会、日本作業療法研究学会、行動リハビリテーション研究会（顧問）、行動ウェルネス研究会（研究アドバイザー）

資格

公認心理師、臨床心理士、臨床発達心理士

受賞歴など

1. 2022年 日本認知・行動療法学会 内山記念賞 野田航・石塚祐香・石川菜津美・宮崎優・山本淳一 発達障害のある児童の漢字の読みに対する刺激ペアリング手続きを用いた遠隔地学習支援の効果
2. 2022年 義塾賞 山本淳一 発達支援への応用行動分析学研究

3. 2020年 日本行動分析学会 学会賞（論文賞） 松田壮一郎・山本淳一
遊び場面における広汎性発達障害幼児のポジティブな社会的行動に対するユーモアを含んだ介入パッケージの効果
4. 2019年 日本特殊教育学会 第31回研究奨励賞 石川菜津美・石塚祐香・山本淳一
就学前の発達障害児に対する「授業参加」支援プログラムの開発と評価
5. 1999年 日本行動療法学会 内山記念賞 奥田健次・井上雅彦・山本淳一
発達障害児における文章理解の指導—情緒状態の『原因』を推論する行動の獲得

おもなワークショップ担当歴

北海道から沖縄までの25都道府県、東京都の14区市でワークショップを実施してきた。

公認心理師の方へ一言

このワークショップでは、ケースマネジメントの練習だけでなく、スーパービジョンを行うためのヒントをたくさんお話しします。公認心理師が、効果的な発達支援・教育支援・福祉支援を実現するためには、多様なコンピテンスの獲得と同時に、PDCAを常にまわし続け、それをデータ化しながら、自身の支援を常に見直す柔軟な行動が必要です。支援プロトコルを適用するだけでなく、運動・知覚・コミュニケーション・言語・認知・社会性に関する「発達」・「行動」・「学習」の法則など、心理学の成果をフル活用し、本人の行動レパートリーと環境条件に合わせて、技法を的確に統合しながら実践を進めるエクササイズを行います。

情報交換会

【開催日時】 8月19日（土）17:30-18:00

【開催場所】 21KOMCEE East 2階 K211

【企画・司会】 丹野 義彦（一般社団法人 公認心理師の会 理事長／東京大学名誉教授）

【企画趣旨】

年次総会の最大の目的は、会員の交流機能です。これは、会員が一同に会し、顔を合わせ、学び、親睦を深める場をつくることです。これまで3年間はコロナ禍によってオンライン形式となり、会員相互の顔が見えないという意見もいただいて折りましたが、ようやく待ちに待った対面形式の総会が開けるようになりました。そこで、会員のみなさまと顔を合わせて、自由に意見交換する情報交換会の場を設けることにしました。

顔が見える場で、理事長・理事と会員が会の運営や方向について意見を交換し、ふだん考えていることの情報共有などをおこないます。また、会員同士の名刺交換などを通じて人脈作りの機会ともしていただければ幸いです。

若手の会 設立記念交流会

【開催日時】 8月19日（土）17:30-18:00

【開催場所】 21KOMCEE East 2階 K212

【企画】 佐藤 寛（関西学院大学）

【司会】 国里愛彦（専修大学）

【企画趣旨】

公認心理師の会ではこの度、「若手の会」を設立することになりました。

「若手の会」は公認心理師の会の若手会員が相互に交流を深めて意見交換の機会を持ち、公認心理師としての初期キャリアを円滑に開始するためのプラットフォームとしての機能を果たすことを目的としています。

当日は、若手会員が出身大学や研究室の外で新しい人脈やネットワークを築く場としての「若手の会」のご紹介と、設立記念イベントのご案内をいたします。

年次総会 プログラム

2日目 2023年8月20日(日)

9:30~9:50

開会式

10:00~12:00

PG1 医療部会企画シンポジウム

脳の働きに障害を持つ人と出会ったら

—高次脳機能障害、認知症、統合失調症、発達障害のアセスメントと支援—

PG2 教育・特別支援部会／福祉・障害部会企画シンポジウム

福祉・教育領域における公認心理師の協働によるシームレスな就学支援

PG3 公認心理師養成大学教員連絡協議会(公大協)共催シンポジウム

公認心理師養成のための実習指導者 講習会の開始に向けて

13:00~15:00

PG4 司法・犯罪・嗜癖部会企画シンポジウム

司法・犯罪・嗜癖領域の公認心理師に求められるチカラ

～コンピテンスリストについて考える

PG5 臨床発達心理士認定運営機構共催シンポジウム

発達支援における包括的アセスメントから支援の方向性

—科学者・実践家としての根拠のある支援—

PG6 千葉大学子どもこころの発達教育研究センター共催シンポジウム

オンラインメンタル相談支援システムの社会受容性

PG7 MCT-J ネットワーク共催シンポジウム

MCTの理論と実践

15:30~17:00

PG8 産業・労働・地域保健部会企画シンポジウム

デジタルメンタルヘルス

PG9 倫理・職責・関連法規委員会企画シンポジウム

公認心理師の共通コンピテンス

PG10 日本認知療法・認知行動療法学会共催シンポジウム

多様な現場における公認心理師による認知行動療法の実際と課題

～総合病院・がん医療・産業保健分野の実践～

PG11 研究推進・学術情報提供委員会企画

若手の会の企画イベント(予定)

17:10~17:30

閉会式

2 日目 2023 年 8 月 20 日（日） 年次総会

開会式

9 : 30 ~ 9 : 50

司 会	古村 健	一般社団法人 公認心理師の会 事務局長
開会の辞	丹野 義彦	一般社団法人 公認心理師の会 理事長

PG1 医療部会企画シンポジウム

10 : 00 ~ 12 : 00

脳の働きに障害を持つ人と出会ったら

—高次脳機能障害、認知症、統合失調症、発達障害のアセスメントと支援—

司 会	河野 直子	大阪公立大学
	澤田 梢	広島県立障害者リハビリテーションセンター
話題提供	緑川 晶	中央大学
	角田 千景	国立循環器病研究センター
	大塚 貞男	京都大学
	井上 雅彦	鳥取大学
指定討論	松井 三枝	金沢大学

【目的・ねらい】医療領域で働く心理師は、どのような現場であっても、脳機能に問題を抱える方と出会う機会がある。それぞれの疾患に対する基本的な知識をもっておくことで患者をより多角的に理解することができ、必要なアセスメントや心理的な支援を実践することができる。そこで本シンポジウムでは、高次脳機能障害、認知症、精神疾患、発達障害など脳機能の問題に関連する各疾患を取り上げ、それぞれの領域でご活躍の先生より専門的な理解と支援について話題提供いただく。本シンポジウムを通して、私たちが、普段の臨床の場でそれぞれの疾患の方と出会った時に、どのような点に留意してアセスメントや心理的支援を心掛けると良いのか、あるいはどのようなときに専門機関と連携をとっていけば良いのかというヒントを得ることができると思う。また、各疾患についての最新の知見についてもアップデートできる機会としたい。

福祉・教育領域における公認心理師の協働によるシームレスな就学支援

司 会	山本 淳一	東京都立大学/慶応義塾大学
	日下部 典子	福山大学
話題提供	熊 仁美	NPO 法人 ADDS
	石川 菜津美	東京大学医学部附属病院
	安達 潤	北海道大学
	大橋 智	東京未来大学

【目的・ねらい】未就学児が就学へと移行する際には、対象児の特性・状態や様々な生活環境の中で、どのような学びの場を選択すべきか保護者は非常に悩む。本シンポジウムでは、福祉・障害部会と教育・特別支援部会の共同企画により、特に発達課題を抱える子どもたちがスムーズに就学するための最新の取り組みについて、科学的エビデンスに基づいた話題提供を行う。さらに、登壇者によるパネルディスカッションとフロアとの全体討論を通じて、公認心理師がいかにして協働しシームレスな就学支援を実現していくかを追究する。

公認心理師養成のための実習指導者講習会の開始に向けて

司 会	丹野 義彦	東京大学名誉教授
話題提供	吉橋 実里	厚生労働省 公認心理師制度推進室
	今村 扶美	国立精神・神経医療研究センター病院
	古川 洋和	鳴門教育大学
	古村 健	東尾張病院

【目的・ねらい】公認心理師法が施行され5年が経過し、公認心理師養成のための実習指導者講習会カリキュラムがいよいよ開始となる。令和4年度障害者総合福祉推進事業「公認心理師の多様な活躍につながる人材育成の在り方に資する調査」において、実習指導者講習会のカリキュラムは検討され、準備が進められてきた。本シンポジウムでは、これまでの準備の経過と成果、そして今後の計画について共有し、課題を検討したい。話題提供者には、実習指導者講習会カリキュラム検討の関係者を迎える。公認心理師養成に関わる公認心理師の方々にはご参集を願いたい。

司法・犯罪・嗜癖領域の公認心理師に求められるチカラ

～コンピテンスリストについて考える

司 会 話題提供	嶋田 洋徳	早稲田大学
	浦田 洋	甲子園大学
	齋藤 梓	上智大学
	岩見 広一	北海道警察本部
	田部井 三貴	千葉家庭裁判所佐倉支部
	西中 宏吏	早稲田大学
	中川 桂子	大石クリニック
	野村 和孝	北里大学

【目的・ねらい】2017年に公認心理師法が施行され、司法・犯罪分野が公認心理師の主要な活動領域の1つとして位置づけられた。司法・犯罪分野における活動内容として、公認心理師カリキュラム等検討会報告書（厚生労働省，2017）にその概要が記載されているものの、具体的な内容についての定めはなされていない。また、司法・犯罪分野における実践の現状においては、嗜癖を対象とした心理臨床との連携と技術共有が必要不可欠な状況にある。そこで、司法・犯罪・嗜癖部会では、科学者－実践家モデルの理念に基づく公認心理師の求められる役割に応えるため、司法・犯罪・嗜癖分野におけるコンピテンスリスト（一般社団法人公認心理師の会 Web ページに掲載：<https://cpp-network.com/professional/>）の作成を行なった。本シンポジウムでは、コンピテンスリストについて、作成の経緯やその狙いについて紹介する。

発達支援における包括的アセスメントから支援の方向性

— 科学者・実践家としての根拠のある支援 —

司 会	秦野 悦子	白百合女子大学
話題提供	清水 里美	平安女学院大学
	萩原 拓	北海道教育大学旭川校特別支援教育分野
指定討論	本郷 一夫	AFL 発達支援研究所
	星 茂行	臨床発達心理士認定運営機構

【目的・ねらい】 定型発達児とは異なる発達特性を持つ子ども、具体的には、発達の遅れ (delay) や、偏り (bias)、歪み (distortion) のある子ども、また、日常生活の適応行動において困難がある子どもは、それぞれに支援を必要とする状況である。支援の対象者にとって生活の中で顕在化する問題は、能力の問題と、行動の問題である。能力の問題は、福祉・教育・心理が支援の中心になる。一方、行動の問題は、それらに医療を加えた多分野連携の支援体制が望ましい。本シンポジウムでは、各話題提供者の方々が、科学者・実践家として行っている「対象者と取り巻く環境を把握するための適切、かつ包括的アセスメント」を取り上げる。萩原氏は「支援につなげる包括的アセスメントの実践的アプローチ」について、清水氏は「発達検査における包括的アセスメント：行動観察の観点」について、本郷氏は「保育の巡回相談の場における包括的アセスメント」を論じる。

*臨床発達心理士の方は、本共催企画研修会に参加した場合、0.5 ポイントの臨床発達心理士更新ポイントを付与します。(一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構)

オンラインメンタルヘルス相談支援システムの社会受容性

司 会	清水 栄司	千葉大学
	加藤 友章	科学技術振興機構：JST
話題提供	大倉 政宏	希少疾患連絡会
	太田 英伸	秋田大学
	富家 直明	北海道医療大学
	佐藤 大介	千葉大学
	竹林 由武	福島県立医科大学

【目的・ねらい】 オンラインメンタル相談支援の社会実装が実現されるために「社会的受容性」を得ることが重要である。公認心理師は、心理学に関する相談支援を行う専門家として、他の医学、情報工学、教育学など専門家とともに、「総合知」を活用した All Japan 体制での対話を通じて、オンラインメンタル相談支援の社会への理解、普及を進めていくことができる。本シンポジウムでは、多様な領域でのオンラインメンタル相談支援についての総論から各論までの幅広い話題提供をいただく。最初に、オンラインメンタルヘルス相談支援システムの現在についての総論について、発達障害リスクを持つ乳幼児に対する遠隔療育セラピーについて、オンラインでのスクールカウンセリングについて、成人を対象とした不眠症の認知行動療法アプリの提供について、メンタルヘルスアプリの安全性評価についての話題から、総合的な討論により「社会受容性」についての意見交換を行う。

MCTの理論と実践

司 会	古村 健	東尾張病院
話題提供	石川 亮太郎	大正大学
	細野 正人	東京大学
	池田 直矢	東京大学医学部附属病院

【目的・ねらい】メタ認知トレーニング (Metacognitive Training: MCT) は、主に統合失調症の方々を対象とした心理教育・心理療法の技法として開発されました (Moritz & Woodward, 2007)。日本でも、2つのモジュールを原型に追加した10モジュール版MCTの臨床有効性が実証されたこと (Ishikawa et al., 2020) に加えて、うつ病や強迫症のために応用されたツールも翻訳され、臨床における活用の幅も広がっています (石垣, 2022)。また本年には「一般社団法人MCT-Jネットワーク」が創設され、これまで以上の普及が期待されています。本シンポジウムでは、公認心理師の会メンバーにMCTを臨床実践に取り入れていただくため、MCTの理論、現場に即した実践方法、他の介入法との連携などについて各シンポジストが解説します。最後に皆さんとの質疑応答に十分な時間をとりますので、ご参加をお待ちしております。

デジタルメンタルヘルス

司 会	岡島 義	東京家政大学
	真船 浩介	産業医科大学
話題提供	山本 哲也	徳島大学
	真船 浩介	産業医科大学
	岡島 義	東京家政大学
指定討論	水島 秀聡	小島プレス工業株式会社

【目的・ねらい】労働者の健康保持増進を促す手段として、デジタルメンタルヘルスツールの利用が広がっている。新型コロナウイルスの流行に伴う働き方としてデジタルツールの活用が一層進んだことや、職場のメンタルヘルス対策を労働生産性向上など経営課題の解決と結びつける世界的な動きに合わせて、国内で健康経営活動が盛んに行われるようになったことなどが背景にあると考えられる。そこで本シンポジウムでは、さまざまなデバイスで提供されているアプリやAIやVRを活用した最新のデジタルヘルスケア技術に関する知見を紹介するとともに、非専門家にエビデンスをどのように伝えるのか、労働者に興味を持ってもらい、利用し続けてもらうのかをサイエンスコミュニケーションの視点から、またデジタルメンタルヘルスケアの効果的な活用法と限界について得られている知見について紹介する。公認心理師としてどのようにデジタルヘルスケア技術を利用していくのか考えていく。

公認心理師の共通コンピテンス

司 会	丹野 義彦	東京大学名誉教授
	伊藤 義徳	人間環境大学
話題提供	金井 嘉宏	東北学院大学
	佐々木 淳	大阪大学
	有光 興記	関西学院大学

【目的・ねらい】公認心理師の会の特色は、5分野それぞれの活動に必要とされるコンピテンス（知識と技能）を明確に具体化し、それに基づいた研修を提供する点にある。そしてそれぞれを横断する「共通コンピテンス」とは、公認心理師として望まれる基礎的能力を示すだけでなく、科学者－実践家モデルとエビデンスにもとづく実践を目指す臨床家の人物像を描くものといえる。本企画では、共通コンピテンスリストの詳細と作成経緯、望まれる公認心理師像としての倫理綱領と倫理規程、そして、より国際的な文脈での心理職のコンピテンス概念や指導モデルについて紹介する。当会そして本邦における公認心理師がいかにあるべきかを考える機会になれば幸いである。

多様な現場における公認心理師による認知行動療法の実際と課題

～総合病院・がん医療・産業保健分野の実践～

司 会	古村 健	東尾張病院
話題提供	巢黒 慎太郎	神戸女子大学
	柳井 優子	国立がん研究センター中央病院
	田上 明日香	SOMPO ヘルスサポート
指定討論	藤澤 大介	慶応義塾大学医学部／日本認知療法・認知行動療法学会

【目的・ねらい】認知行動療法（CBT）は、うつ病、不安症をはじめ、さまざまな精神障害に対する有効性が認められ、精神医療分野において幅広く活用されてきた。そして、このCBTを実践する担い手としては、公認心理師の貢献は大きく、今後も活躍が期待されている。さらに、CBTは精神障害にとどまらず、さまざまな問題にも活用されるため、活躍の場はさらに広がりを見せている。そこで、本シンポジウムでは、総合病院および産業保健分野で働く3名の公認心理師から、CBTを活用した心理支援の実践報告を行う。どんな問題に対して、何を目的として、どのようなモデルを用いて心理支援を実践しているのか、今後どのような発展が期待されるのかを参加者と共有したい。また、指定発言者からは、CBTの普及と実践者の育成の視点から現状と今後の課題に触れていく。

若手の会 ネットワーキングイベント

企 画	佐藤 寛	関西学院大学
司 会	国里 愛彦	専修大学
話題提供	畑 琴音	早稲田大学
	渡辺和広	北里大学

【目的・ねらい】 「若手の会」は公認心理師の会に所属する若手会員の皆様が、相互に交流を深めて意見交換の場を持ち、公認心理師としての初期キャリアを円滑に開始するためのプラットフォームとしての役割を担うことを目的として設立されました。この「若手の会ネットワーキングイベント」では、年次総会にお越しいただいた若手の皆様の新しい人脈づくりに役立てていただくために企画されました。当日は研究推進・学術情報提供委員会の規格のもと、ご参加いただいた皆様同士が交流する場を設けます。公認心理師としてのネットワークを広げていただく機会としてぜひご活用ください。

閉会式

9:30~9:50

司 会	古村 健	一般社団法人 公認心理師の会 事務局長
年次総会委員会から	藤澤大介	慶応義塾大学医学部
研修会委員会から	佐々木淳	大阪大学
開会の辞	丹野 義彦	一般社団法人 公認心理師の会 理事長

年次総会発表論文集のご案内

年次総会のシンポジウムでの発表の要旨は、当会の学術雑誌『科学者－実践家モデル』に掲載されます（左図）。

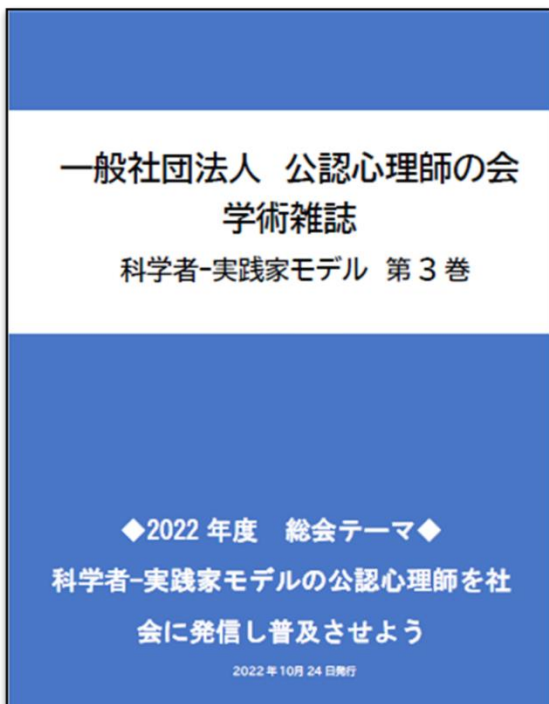
年次総会での有益で水準の高い実践研究活動の成果を会員のみならずと共有し、学びの糧とするために、当会は学術雑誌『科学者－実践家モデル』を創刊し、総会発表論文集としてきました。これは年次総会の学会機能（科学者・実践家モデルにもとづく実践研究を推進し、生涯研鑽の場をつくる目的）を具現したものです。タイトルの科学者－実践家モデルは当会の設立理念です。

2020年の創刊以来、毎年1巻ずつ刊行され、今年2023年度で第4巻となります。

年次総会のシンポジウムの企画者・話題提供者・指定討論者の方々は、総会后1ヵ月までに原稿をお寄せください。原稿提出の方法については、個別にご案内いたします。

いただいた原稿は、当会の編集委員会が編集し、総会后2ヵ月を目途に『科学者－実践家モデル』第4巻として発行いたします。

『科学者－実践家モデル』は、当会ウェブサイトの会員専用ページに会員限定で公開します。過去のバックナンバーも会員専用ページでご覧いただけます。総会に参加できなかった会員のみならずも、年次総会の成果を共有いただくことができます。



なお、当会は、広報誌『公認心理師の会ニュースレター』も発行し、当会ウェブサイトの会員専用ページに掲載し、会員の方にアクセスできるようにしています（右図）。

公認心理師の会 研修会・年次総会委員会（2021～2022年度）

委員長 清水栄司（千葉大学）

研修会担当委員 医療部会 大塚貞男（京都大学）

教育部会 戸ヶ崎泰子（宮崎大学）

福祉部会 金澤潤一郎（北海道医療大学）

司法部会 村瀬華子（北里大学）

産業部会 岡島義（東京家政大学）

倫理・職責委員会 伊藤義徳（人間環境大学）

年次総会担当委員 医療部会 澤田梢（広島県立障害者リハビリテーションセンター）

教育部会 佐々木恵（北陸先端科学技術大学院大学）

福祉部会 熊仁美（特定非営利活動法人 ADDS）

司法部会 有野雄大（法務総合研究所）

産業部会 植田健太（Office CPSR 臨床心理士・社労士事務所）

水島秀聡（小島プレス）

理事長 丹野義彦（東京大学名誉教授）

事務局長 古村 健（東尾張病院）

2023 年年次総会・研修会実行委員会

実行委員長 丹野義彦（東京大学名誉教授）

副委員長 細野正人（東京大学）

顧問 石垣琢麿（東京大学）

毛利伊吹（上智大学）

森脇愛子（帝京大学）

委員 古村 健（東尾張病院、公認心理師の会事務局長）

石川亮太郎（大正大学）

林 明明（理化学研究所）

中島実穂（株式会社アイデアラボ）

年次総会・研修会 運営事務局 株式会社プロアクティブ内